

アーチェリー専門部・熱中症対策ガイドライン

危機管理委員名 塚越 亮太
(所属校名) 栃木県立烏山高等学校

熱中症対策	
事前の準備	<ul style="list-style-type: none">○WBGTの「運動に関する指針」を参照し、大会スケジュールを設定する■WBGT=31°Cを上回らない時間帯（午前中）に試合を設定する■高体連主催の大会は、70mRのみとし、マッチ戦は行わない（時間の短縮）○体温測定および健康チェック○天候や気温に見合った服や帽子の着用を義務づける○高体連主催の大会においてはテントの設置を義務づける○クーラーの設置してある部屋や、ない場合は屋内の涼しい場所を確認する○医療機関の連絡先確認○熱中症指標計および経口補水液の準備
大会実施時の対応	
開会式	<ul style="list-style-type: none">○テントや日陰等を活用し、密にならないよう立ち、簡略的に実施する
競技中	<ul style="list-style-type: none">○人と十分な距離を確保できる場合は、マスクを適宜はずす○行射中以外は、テント内や日陰など日射を遮ることのできる場所で待機させるが、密にならないよう指導する○こまめな水分と塩分補給を義務づける○WBGT=31°Cを超えた場合、一時競技を中断し、競技役員でその後の対応を協議する■WBGTの値が31°Cを下回らない場合、競技を終了し、その時点の成績をもって表彰とする
閉会式	<ul style="list-style-type: none">○開会式と同様に実施する

参考文献

公益財団法人日本スポーツ協会

「スポーツ活動再開時の新型コロナウイルス感染症対策と熱中症予防について」

環境省

「熱中症予防情報サイト」

✂切期日 3月19日（金）

※3月19日(金) までにデータをメールにて事務局に送信ください。